

第4学年 社会科学学習指導案

平成27年2月27日（金）5校時

第4学年1組 27名 水谷 洋克

第4学年2組 29名 鈴木 昌美

1. 小単元名 江戸の文化を今に伝える浅草のまち

2. 小単元の目標

- ・浅草の人々が受け継いできた伝統行事や文化財、ものを作る技術、まち並みなどを資料で調べ、伝統行事や文化財のよさや受け継いでいる地域の人々の願いについて考え、まとめることができる。

3. 小単元の観点別評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	○多くの観光客が集まる浅草の様子に興味・関心をもち、意欲的に調べている。
社会的な思考・判断・表現	○伝統や文化の残るまち浅草では、どのような人がどのようなことをして地域を発展させているのか、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 ○浅草に住む人々の工夫や努力、協力、地域への愛情、年中行事やまちづくりに込められた思いや願いを関連付けて考え、表現している。
観察・資料活用の技能	○資料活用やインタビュー、体験活動などを通して、伝統や文化を生かしたまちづくりをしている人々の工夫や努力などについて、必要な情報を集め、読み取っている。 ○調べたことや考えたことをノート、ミニ新聞、手紙などにまとめている。
社会的事象についての知識・理解	○浅草には長い歴史があり、伝統や文化が多く受け継がれていることを理解している。 ○伝統や文化が受け継がれてきた浅草のまちの活性化のために、まちの人々が様々な取り組みの中で工夫や努力、協力していることを理解している。

4. 小単元について

(1) 学習指導要領との関連

本小単元は、学習指導要領の以下の内容を受けて設定した。

2内容

(6) 県(都、道、府)の様子について、つぎのことを資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ、県(都、道、府)の特色を考えるようにする。

エ 県(都、道、府)内の特色ある地域の人々の生活

3内容の取扱い

(7) 内容の(6)については、次のとおりに取り扱うものとする。

ア ウについては、自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域を取り上げる。その際、伝統的な工業などの地場産業の盛んな地域を含めること。

本小单元では、「伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域」として、浅草を取り上げる。浅草では歴史的文化的な地域の資源を保護・活用して、地域の人々が互いに協力して、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めている。特に、本実践では、浅草を盛り上げるために主体的に取り組む人とのかかわりを通して、これから未来に向けてまちのより一層の発展に尽くす人々の願いや、その取組の様子、努力について考えを深められるように小单元構成を考えた。

(2) 教材について

浅草は約1400年という歴史あるまちであり、神社、仏閣の多い寺町でもある。(年間観光客数は平成24年度で約2000万人、年間観光消費額は約1600億円である)三社祭りや西の市など、浅草寺や浅草神社、鷲神社にまつわる行事も多く、それら歴史的建造物や行事を地域で大切に守り続けてきた。また、観光客を呼び込むため、日本らしい独特の町並みを保存している地域でもある。商店街でも町ぐるみで協力して浅草を盛り上げようとしている。

今回は、江戸末期から雷門でお茶屋を創業し、現代も浅草の行事に欠かせない菓子作りをしている和菓子の老舗。浅草の伝統行事を支え、浅草のよさを伝える活動に取り組むA氏、140年の歴史ある桐木目込み工芸の職人を取り上げる。特に、本実践においては、桐木目込み工芸の伝統的な技術を生かした工芸体験の活動を取り入れ、児童が職人の方と直接かかわる場を設定した。児童は浅草の人々とビデオでの出会いや直接の出会いを通しインタビューをする中で「伝統を受け継ごうとする苦労や努力」「新しい時代に合うように残すための工夫」を学ぶであろう。その中で「伝統を残すことの意義」「社会として望ましいあり方」「職人さんの誇りある生き方」「自分はどのように生きていきたいか」などを考えさせたい。

(3) 児童の実態

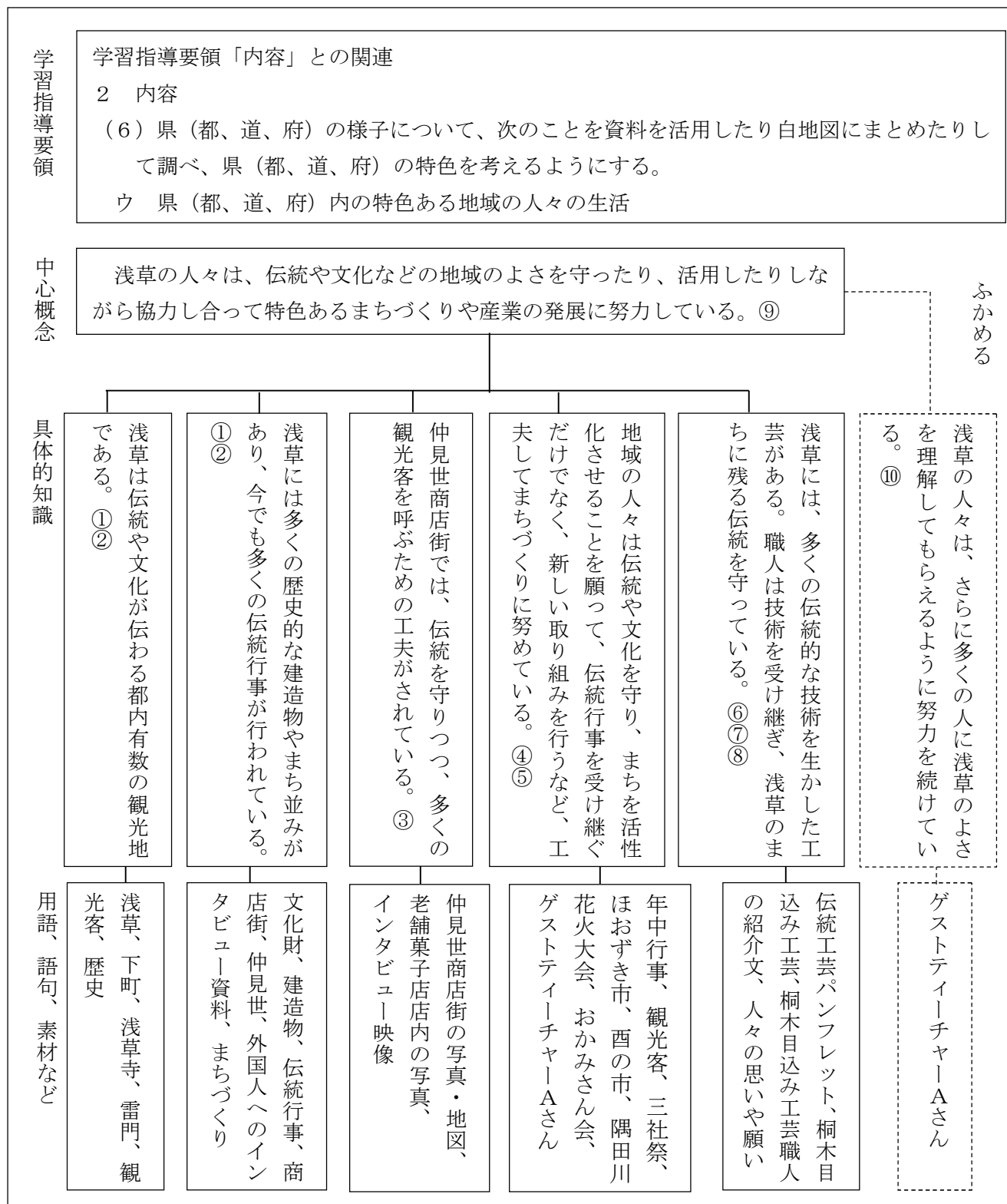
(省略)

5. 学年の研究主題との関連

	(1) 社会認識を深め、 参画意識を培う教材の開発	(2) 社会認識を深め、 参画意識を培う指導の工夫	(3) 社会認識の深まりや社会参画へ の思いを見取る評価の工夫
つかむ	<p><目指す具体的な子供の姿> 自分たちの暮らす東京都に伝統や文化を受け継いでいるまち浅草があることに驚き、どのようなまちなのか問いを見出し、表現することによって問題意識を深め、根拠のある予想を立てている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統や文化が伝わる浅草のよさについて、驚きをもって自分とのかかわりが意識できるように、浅草のまちや観光客の映像、インタビューを取り上げる。 ・伝統や文化を受け継ぎながらまちづくりを行っている様子がつかめるように、「商店街」「行事」「寺社」「伝統的な技術を生かした工芸」について資料を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・浅草に行ったことのある子供や教師の話を取り上げ、自分とのかかわりが意識できるようにする。 ・日本人だけでなく、外国人の観光客へのインタビュー映像から分かったことを発表し合うことで、観光客の立場から浅草をとらえさせる。 ・現在の浅草と昔の浅草の写真を比較し、児童の疑問を基に学習問題をつくる。その後で当時の浅草の人々がどのようにまちづくりを進めたかを話し合う活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の立場に立って、浅草がどのような歴史と文化が伝わるまちであるかについてとらえることができたかを、記述から見取り評価する。 ・浅草の人々が伝統や文化を受け継ぎながら、どのようにまちづくりをしようとしているのかという疑問や予想をもつことができたか、記述から見取り評価する。 <p>《期待する具体的な反応例》 「浅草は伝統や文化が受け継がれ、たくさん観光客が訪れるまち。観光客は浅草に受け継がれている伝統や文化を楽しみに訪れているけれど、浅草の人々はどのようなまちづくりをしているのかな。みんなで協力しているのかな。」</p>
調べる	<p><目指す具体的な子供の姿> 浅草に受け継がれる伝統や文化を守り、地域を発展させるための様々な立場の人々の取り組みを調べ、工夫や努力、協力の様子、思いや願いについて考えたことを表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浅草に代々伝わる菓子や浅草の伝統や文化が続くことを願っている老舗の方の話を提示する。 ・浅草に残る年中行事について、行事カレンダーや三社祭の写真など、歴史や意味、行事に込められた願いに気付けるような資料を提示する。 ・浅草の活性化を願って新しいものも取り入れたまちづくりを行っているおかみさん会を取り上げる。 ・浅草に残る伝統行事にかかわる方の話（ゲストティーチャーAさん）を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・浅草に代々伝わる菓子や老舗の方の話などから、昔から引き継いだ商売に真摯に取り組んで暮らす方の思いや浅草に対する愛情を考えられるようにする。 ・商店街の方の立場に立って思いや願いを考え吹き出しに表現する活動を行う。 ・浅草に残る伝統行事を受け継ぐ人々の工夫や努力について調べ、思いや願いを考え、吹き出しに表現する活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・老舗の方の工夫・努力とその功績について調べ、事実をとらえることができたか、商店街の方の思いを考えることができたかを、ノートの記述から見取り評価する。 ・浅草に残る伝統行事や新しい取り組みについて調べ、伝統行事の歴史や意味をとらえることができたか、伝統行事を受け継ぎながら、新しいものを取り入れたまちづくりを行っている浅草の人々の思いを考えることができたかを、ノートの記述から見取り評価する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・浅草には数多くの伝統的な技術を生かした工芸が残されていることがとらえられるよう、パンフレットを提示する。 ・浅草に残る伝統的な技術を生かした工芸を自分とのかかわり度とらえられるよう、桐木目込み工芸の体験や箱長さんの話を聞く活動を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な技術を生かした工芸の体験や伝統工芸を受け継ぐ人の話を聞く活動を行い、思いや願いを考え表現する活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・浅草に残る伝統的な技術を生かした工芸について調べ、伝統を受け継ぐ人々の思いを考えることができたかを、ノートの記述から見取り評価する。 <p>《期待する具体的な反応例》 「浅草の人々は、浅草に受け継がれる伝統や文化を守り、地域を発展させるための様々な取り組みを行っている。浅草に対する愛情や誇りをもち、それぞれの立場で協力している。浅草に残る伝統工芸を体験して、私も浅草の伝統のよさが少し分かった。」</p>
<p>まとめる</p>	<p>＜目指す具体的な子供の姿＞ 調べたことを関連付け、伝統や文化を受け継ぐまち浅草がどのようなまちなのか、浅草の人々がどのようなまちづくりをしているのか、手紙や新聞にまとめている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統や文化を受け継ぐまち浅草がどのようなまちなのか、かかわる人々の働き、思いや願いをとらえ直すことができるように、これまでの学習をまとめたものを提示し、自分のノートを見直すようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を振り返り、「商店街」「行事」「伝統的な技術を生かした工芸」にかかわる人々の工夫や努力と浅草のまちの様子について関連付けて考え、手紙や新聞に表現する活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「商店街」「行事」「伝統的な技術を生かした工芸」にかかわる人々の働き、思いや願いを関連付けて考えているか、手紙や新聞から見取り評価する。 <p>《期待する具体的な反応例》 「浅草は東京都の中でも伝統や文化が受け継がれているまち。だから浅草の人々はみんなで協力して伝統を守り、それぞれのよさを生かし、もっとよいまちにして、浅草の人も浅草を訪れる人も喜べるように一生懸命に考えてがんばっている。」</p>
<p>ふかめる</p>	<p>＜目指す具体的な子供の姿＞ 東京都に伝統や文化を受け継ぐまち浅草があることについて、東京都の一員として誇りをもっている。そして、伝統や文化を受け継いでいる浅草に対する自分の思いを表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浅草の伝統行事にかかわる方（ゲストティーチャーAさん）に来ていただき、浅草に対する自分の考えを伝える活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめた手紙や新聞を基に、浅草の伝統や文化に対する自分の考えをまとめ、友達やゲストティーチャーに伝える活動を行う。 ・浅草のまちづくりを行っている方に考えたことを聞いてもらうことで、価値づけてもらい、浅草に対する愛情が深められるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都に伝統や文化を受け継ぐまち浅草があることに誇りをもち、まちの発展のためにはどうしたらよいかを考えているか、発言や記述から見取り、評価する。 <p>《期待する具体的な反応例》 「東京都に伝統や文化を受け継ぐまち浅草があって嬉しい。浅草のことをもっと多くの人に知ってほしいな。」</p>

6. 知識の構造と育てたい子供の姿



育てたい子供の姿

多くの観光客が集まる浅草に関心を持ち、長い歴史や受け継がれた伝統や文化、技術を理解し、浅草に住む人々がそれらのよさを生かしながらまちづくりを進める努力や協力の様子、地域への愛情、年中行事やまちづくりに込められた願いを考え、インタビューしたことや映像、資料等からミニ新聞や手紙等にまとめることができる子。

	ねらい	学習活動	資料【評価】
つかむ	①浅草には歴史ある町並みや建造物があることや多くの観光客が訪れていることを知り、浅草に関心をもつ。	○映像資料（町並みの様子）や文書資料（地図・観光客数・外国人観光客へのインタビュー）を見て、気付いたことや考えたことを発表し合う。 ○浅草とはどのようなまちかを表現する。 [浅草は伝統や文化が残る、人が集まるまち]	・外国人観光客へのインタビュー ・年間観光客数の表、グラフ ・浅草の観光地図 ・写真（商店街、寺社、伝統的な技術を生かした工芸、年中行事） 【関・意・態】観光客が集まる浅草のまちに関心をもち、伝統的なものに残る浅草の様子をとらえている。 【知・理】浅草には長い歴史があり、伝統や文化が多く受け継がれていることを理解している。
	②学習問題を設定し、調べる計画を立てる。	○約50年前と現在の浅草の様子を比べ、気付いたことを発表する。 ○前時の学習を振り返り、学習問題を設定する。	・前時の資料 ・約50年前の浅草の様子の写真
	伝統的なものに残る浅草の人々が、どのようなまちづくりをしているのか調べよう。		
		○学習問題に対する予想を立て、学習計画を立てる。 ・お店や商店街の様子（仲見世商店街） ・浅草に残るお祭りやイベント（年中行事） ・伝統工芸品	【思・判・表】伝統や文化の残る浅草のまちづくりについて、学習問題をつくり、予想をし、学習計画を立てている。
調べる	③仲見世商店街の様子や店の人の努力について調べ、浅草の人々の工夫や努力がわかる。	○店や商店街の様子を、写真や地図で調べる。 ○老舗菓子店の店の様子や店主さんの努力を調べる。 ・江戸時代から続く味を守り伝える。 ○菓子店の店主さんの、浅草に対する思いや願いを考え、吹き出しにまとめる。	・仲見世商店街の写真 ・浅草の地図 ・老舗菓子店の店内の写真、店主さんのインタビュー映像 【技】老舗の人の工夫や努力について調べ、浅草のまちに対する思いや願いを考えまとめている。
	④浅草の年中行事について調べ、現在も多くの行事が行われている訳を考える。	○年中行事カレンダーを見て、浅草の年中行事を調べる。 ○一つの年中行事を選び、資料を活用して内容や歴史、意味などを調べる。 ○近年、年中行事が多くなっている理由を考える。	・年中行事カレンダー ・年中行事の写真 【技】年中行事に込められた願いや、多くの観光客に来てほしいまちの人の思いを資料から調べまとめている。

	⑤浅草のまちや行事にかかわる人の思いについて調べ、地域の人々が協力し努力していることを理解する。	○Aさんの話を聞き、地元の人々の浅草のまちや行事への思いを知る。 ・浅草のまちが大好きで、自分もその一員であることに誇りがある。 ・それぞれの行事のよさを多くの人に伝えたい。 ・三社祭りでは、地域の人が総出で盛り上げる。 ○年中行事を受け継ぐ人々の、浅草への思いや願いを考え、吹き出しにまとめる。	・ゲストティーチャーAさん 【思・判・表】行事を受け継いでいるまちの人々の思いや願いを考えている。
	⑥浅草の伝統的な技術を生かした工芸について調べ、数多くの伝統工芸が残されていることを知る。	○パンフレットを見て、浅草にどのような伝統的な技術を生かした工芸があるのか調べる。 ○桐木目込み細工の文箱と現在の書類ケースを比べ、桐木目込み細工について知る。 ○職人の作業の様子を見て、桐木目込み細工の作り方を知る。	・浅草の伝統的な技術を生かした工芸パンフレット、マップ ・桐木目込み細工の文箱 ・現在の紙製書類ケース ・桐木目込み工芸職人の紹介文 【技】浅草には多くの伝統的な技術を生かした工芸が残されていることを、資料から読み取りまとめている。
	⑦桐木目込み工芸を体験し、浅草の伝統的な技術を生かした工芸やそれを受け継ぐ方に関心をもつ。(2組本時)	○桐木目込み工芸職人に桐木目込み工芸のやり方を習い、桐箱を作る。 ○桐木目込み細工をし、心に残ったことを発表したり、疑問に思ったことを質問したりする。	・ゲストティーチャー 桐木目込み工芸職人 【関・意・態】桐木目込み工芸のよさや、受け継がれた技術のすばらしさに気づき、関心をもっている。
	⑧伝統的な技術を生かした工芸を受け継ぐ職人の思いや願いについて考え、浅草の伝統や文化などのよさに気付く。(1組本時)	○桐木目込み細工体験をもとに、職人の思いや願いについて考え、話し合う。 ○桐木目込み工芸職人は浅草のまちづくりにどのようにかかわっているのかを考え、話し合う。	・桐木目込み工芸職人の紹介文(第6時より) 【思・判・表】伝統的な技術を生かした工芸を受け継ぐ人の、まちづくりに対する工夫や努力、思いや願いを考えている。
まとめる	⑨小単元の学習を振り返って作品(ミニ新聞または手紙)にまとめ、学習問題に対するまとめをする。	○これまでの学習を振り返り、それぞれの立場での浅草の伝統や文化に対する思いを確かめる。 ○小単元の学習を通して考えたことをミニ新聞または手紙にまとめる。	・これまでの資料、ノート 【知・理】伝統や文化が受け継がれている浅草のまちの活性化のために、まちの人々が工夫や努力をし、協力して取り組んでいることを理解している。
ふかめる	⑩小単元を通して考えたことを交流し、これからの浅草の発展や、そこにおける人々の働きについて考える。	○前時にまとめた自分の考え(ミニ新聞・手紙)を友達やAさんに向けて発表する。 ○Aさんの話から、浅草の人のまちに対する思いを聞き、自分の考えをもつ。	・前時の作品 ・ゲストティーチャーAさん 【思・判・表】東京都に伝統や文化を受け継ぐまち浅草があることに誇りをもち、よりよいまちづくりのためにまちの人々が果たしている役割について考えている。

8 本時の学習（2組 第7時）

（1）ねらい

桐木目込み工芸を体験し、浅草の伝統的な技術を生かした工芸やそれを受け継ぐ方に関心をもつ。

（2）本時（7／10）

	学習活動	指導上の留意点○資料
5	<p>1 本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>《めあて》 浅草の伝統的な技術を生かした工芸品を自分で作ろう。</p> </div>	○桐木目込み工芸の材料・道具
30	<p>2 桐木目込み工芸職人から桐木目込み工芸の説明を受け、作り方を教わる。 [製造工程] ア下絵を描く。 イ表面を削る。 ウ削ったところに合う着物の生地を和紙で裏打ちする。 エ生地を入れ込む。</p> <p>① 個々で作品を仕上げる。</p> <p>② 作り上げた感想や疑問に思ったこと、職人さんに質問したいことを発表し、職人さんから話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職人さんはうまくなるのにどれくらい修行したのか。 ・一つの作品を作るのにどれくらい時間がかかるのか。 ・お店には何人の人が働いてるのか。 	<p>[用意するもの] のり、はさみ、小筆、絵具、セロハンテープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分からなければ職人さんに直接質問させ、交流できるようにする。 ・伝統文化のよさに気付けるように声かけを行う。 ・工芸品の作り方だけでなく、既習事項を生かした質問もできるようにする。
5	<p>3 学習感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験で使った着物の生地がとてもきれい。 ・自分でも伝統的な技術を生かした工芸品を作ることができてうれしい。 ・職人さんの作品はとても丁寧で細かい模様になっているから時間がかかりそう。 ・昔から伝わってきた伝統を大切にしたい。 	【関・意・態】桐木目込み工芸のよさや、受け継がれた技術のすばらしさに気付き、関心をもっている。(発表)

9 本時の学習（1組 第8時）

(1) ねらい

伝統的な技術を生かした工芸を受け継ぐ桐木目込み工芸職人の思いや願いについて考え、浅草の伝統や文化などのよさに気付くことができる。

(2) 本時（8／10）

	学習活動	指導上の留意点○資料
3	1 桐木目込み工芸をした感想を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> 桐箱がきれいにできて、嬉しかった。 細かい作業が難しく、思うようにいかなかった。 桐木目込み工芸の技術は、簡単にはできないものだ。 昔から伝わる桐木目込み工芸を続けている箱長さんは浅草の伝統をしっかりと受け継いでいるんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの意見を出させることで、次の活動のイメージを膨らませる。
7	2 本時の課題を知る。課題に対する予想を吹き出しにしてノートに書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ≪課題≫ 桐木目込み工芸職人さんの思いや願いを考えよう。 </div> ≪発問≫ 職人さんは、どのような思いや願いで仕事をしているのでしょうか。	○職人さんの顔写真 ○職人さんの紹介資料（第6時配布） <ul style="list-style-type: none"> 前時の桐木目込み工芸体験から考えさせる。 第6時で配布した資料もヒントに考えさせる。 桐木目込み工芸職人の写真をノートの真ん中に貼らせることで、吹き出しを書きやすいノート作りをさせる。 イメージを膨らませるため、近くの児童と相談させる。
10	3 発問に対する予想を学級全体で話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 桐木目込み工芸の技術がなくならず、続いてほしい。 浅草の技術を、もっと伝えたい。多くの人に知ってほしい。 10年以上の長い修業を積んだから、自信をもって商品をつくっている。 伝統的な技術をさらに磨き、よりよいものをつくりたい。 桐箱をより多くの人に買ってほしい。買っていただくことで、浅草のよさを伝えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表したり話を聞いたりしやすいように、机をコの字型にする。 教師が指名をせず、子供たちだけでの話し合いをさせることで、主体的な話し合いの場にする。 話し合いでは、友達の意見をノートにメモさせることで、自分の考えを深めさせる。
18	4 「浅草」のまちづくりを、職人さんはどのようにしているのかを考え、話し合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> ≪発問≫ 職人さんは、「浅草」にどのように関わっているのでしょうか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 浅草のまちに出て、桐箱を販売している。 買ってくれるお客さんにお礼を言っている。 浅草でないと出向き、桐箱を売る努力をしている。 デパートで販売することで浅草に関心がない人にも桐 	○桐木目込み工芸職人が浅草にかかわっている3枚の写真 <ol style="list-style-type: none"> 1) 商店街での販売 2) デパートでの販売 3) 五重塔のライトアップ <ul style="list-style-type: none"> 考える足場として、3枚の写真をヒントにさせる。

	<p>箱を紹介できる。多くの人に浅草のことを知ってもらえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五重塔のライトアップを箱長さんが企画したのでは。 ・工芸以外の仕事として、浅草の他の人と協力して、イベントを盛り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体での話し合いが深められるよう、小グループでの話し合いをさせる。
7	<p>5 本時の感想（わかったこと・考えたこと）をノートに書き、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な技術を生かし、ものをつくり伝えることで、浅草のよさを伝えている。よさを伝えることで、浅草のまちづくりをしている。 ・老舗菓子店の方、ゲストティーチャーの A さんとも関連して、浅草を盛り上げる人がたくさんいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートに書き終えた子から発表させることで、まだ書けていない子の参考にさせる。 <p>【思・判・表】 伝統的な技術を生かした工芸を受け継ぐ箱長さんたちの、まちづくりに対する工夫や努力、思いや願いが浅草の伝統や文化を支えていることを考え、表現している。（ノート、発言）</p>

※授業終了後、桐木目込み工芸職人にクラスに来ていただく。授業で話し合ったことをもとに、職人さんに質問をし、答えていただくことで、職人さんの浅草に対する思いや願いについて理解を深めさせる。